

施設名	中台運動公園・大谷津運動公園・久住体育館・久住テニスコート		
指定管理者	公益財団法人 成田市スポーツ・みどり振興財団		
指定期間	平成28年4月1日	～	平成33年3月31日
施設所管課	シティプロモーション部 スポーツ振興課		1 年目

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	S	S
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構築されているか		A	A	
情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
	協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価 (標準19項目・本施設12項目)	A		
指定管理者の自己評価	協定書に基づき、人員配置等を適正に行った。また、災害時における一時避難場所や避難所等の申し合わせを市と行うなど、危機管理体制の確立を図った。			
施設所管課の評価	利用者のニーズを把握し、開館日の増加や開館時間を延長するなどを行った。また、大会などの利用時には、主催者側と十分な協議を行い、臨機応変な対応を行った。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する評価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	S	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	A	A
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	S	S
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
備品台帳により記録が適切に保管されているか		A	A	
市と指定管理者の備品が明確に区別されているか		A	A	
必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか		A	A	
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価 (標準19項目・本施設18項目)	A		
指定管理者の自己評価	市との定例打合せを行うなど連絡調整を密にできるよう努めた。また、教室参加者のニーズに合せ、自主事業の拡充を図った。			
施設所管課の評価	長年にわたる管理運営に関するノウハウを有しており、苦情や要望に対して迅速かつ適切な対応を行った。また、自主事業などの取り組みもあり、稼働率や利用者数も高い水準を維持しているとともに、緊急時は冷静かつ迅速な対応で人命救助を行うなど、評価は高いと思われる。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価(標準6項目・本施設5項目)	A	
指定管理者の自己評価	会計士に委託するなどして適正な経理事務、予算執行を行い、経費の削減を積極に行った。			
施設所管課の評価	会計士を活用するなど、適切な管理が行われた。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	利用者が安全に利用できるよう施設の管理・運営を行う	A	A
	目標②	修繕が必要な箇所を早期に発見し事故防止に努める	A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準3項目・本施設1項目)	A	
	指定管理者の自己評価	施設の巡回、点検を行うとともに、利用者への声掛けにより危険箇所等々の早期発見に努め、施設や設備の定期的な修繕や整備を行うことで長寿命化を図った。また、利用者からの要望や苦情には迅速に対応するよう心掛けた。		
	施設所管課の評価	稼働率や利用者数などは高い水準を維持している。また、修繕箇所など早期に発見し対応などを行った。		

Ⅴ	【総合評価】	I～Ⅳの総括による総合評価	A	
---	--------	---------------	---	--

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	長年にわたる管理運営の経験により、苦情や利用者からの要望に対し、迅速かつ適正に対応した。また、稼働率及び利用者数は高い水準を維持している。		
	改善が望まれる点	概ね施設の稼働率は高い水準を維持しているが、野球場の稼働率向上の取り組みを行っていただきたい。特に平日や夜間利用の促進を図り、さらなる利用者の増加を図っていただきたい。		